

## 第74回卒業証書授与式 式辞

立春を過ぎてもなお厳しい寒さが続いていましたが、日の出の時間も早まり、寒さも幾分か和らいできました。ようやく春が訪れようとしています。

74期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年前、皆さんは府立高校で最も高い志願倍率を乗り越え、見事三丘生とられました。平成最後の入学式、皆さんの不安と期待の入り混じった気持ちが壇上まで伝わってきました。高校生の中にしか経験できないことがあります。3年間でしっかりと経験してほしいと願って入学式の式辞を読んだことを、昨日のこのように覚えています。毎朝門のところでお迎えしながら、中学卒業のまだあどけなさが残る入学の頃から、一日一日確実に三丘生として成長する姿を見せていただきました。「高い理想、深い叡智、重い使命を抱きつつ次世代を牽引する真のグローバルリーダーを育成する学校をめざす。」という教育方針のもと、「文武両道」「自主自立」「切磋琢磨」の三丘スピリッツを育てて来られました。皆さんは、今では立派な三丘生のモデルです。

3年間を振り返ってみると、入学間もない頃、中学生の時とは比べものにならないほど学習量が増える中でも、懸命に授業に取り組んでいた姿が印象に残っています。令和2年2月からは新型コロナウイルス感染症が拡大し、それまでの生活が一変しました。本校の最も大きな特色の一つであったNASAやアメリカ東海岸、フィリピンへの海外研修やフィールドワークが実施できなくなりました。数ある高校の中から、三国丘高校を選んでくれた大きな要素の一つに、海外研修を挙げてくれる生徒の皆さんも多く、校長として誠に残念でなりません。2年生最初の2か月間の臨時休校が終わると、部活動では心の準備をする暇もなく、突然先頭になって引っ張っていくこととなり、戸惑いを覚えた人も少なくないことでしょう。しかし、新入生を6月に迎え、部活動の伝統を守り続けようと頑張ってくれました。体育祭は中止となり、文化祭も1日開催となりましたが、三丘生が一体となって楽しめるよう生徒会執行部の皆さんをはじめ参加者全員が創意工夫を凝らしてくれていました。ぎりぎりの状況の中での修学旅行も思い出に残っています。3年生になってもマスク着用や黙食の毎日にもよく対応し、今日を迎えることができました。

新型コロナウイルスの登場によって、それまであたりまえと思っていたことがそうではないことに改めて気づかされました。臨時休校の間、学校は悲しいほど良いお天気で、校庭には誇らしく花が咲いていました。しかし、学校に皆さんの姿はありませんでした。朝、皆さんを迎えることのできる毎日はありがたい時間であると、今も身に染みて感じています。

さて、本日、皆さんは卒業し、それぞれの進路に向かって進むこととなりますが、まず4月1日には民法の改正により成年年齢が1歳に引き下げられたことによって、大人の仲間入りを果たし、突然成人になります。これからは保護者の同意がなくても、携帯電話を購入したり、クレジットカードを作成したり、契約ができるようになります。同時に責任も生じます。ますます様々なことを学び、リスクも見積もったうえで、判断することが求められます。

そして、これからの世界は予測困難です。新型コロナウイルスの登場で、すでに元の世界ではなくなっていたところに先週、ロシア軍がウクライナに侵攻しました。決して遠い国の出来事ではありません。経済制裁等によって、今後、私たちの生活にどのような影響を及ぼすか、様々な専門家がコメントしているところですが、確実なことは誰にもわからない状況です。「平和」もまた当たり前のことではなく、多くの人々の努力によって保たれていることを改めて感じます。

予測困難な状況にあっては、人々は不安に陥りやすくなっています。ウイルスの感染同様に恐

ろしいのが不安の感染です。不安は恐怖となり、恐怖はやがて怒りとなって理性的な判断が出来なくなってしまう。私たちは今後、予測困難な中、不安が渦巻く世界で生きてくこととなります。

皆さんの中には大学卒業後、研究者やビジネスパーソン、国家や国際機関の職員としての業務に従事する人もいれば、地域で医療や福祉に活躍する人もいることでしょう。どこにいても、様々な人と力を合わせ困難な状況乗り越えていきましょう。自分とは異なる文化や価値観を持った人たちと知恵や力を合わせ、柔軟な発想をもとに対処していきましょう。皆さんは、授業や課題研究、学校行事や部活動で三丘スピリッツを育てられました。これからの世界においても、高校で学んだことは強い味方となることを確信しています。加えて皆さんの周りには同級生を始め、卒業生の大きなネットワークがあります。困ったときは力を借りましょう。

保護者の皆さん、お子様のご卒業誠におめでとうございます。4月から成人を迎える生徒の皆さんにお子様というのものがななものかと思いますが、いくつになろうとも親子の関係は変わりません。本当におめでとうございます。改めて今日、立派に成長された姿を見られて喜びもいかにばかりかと推察申し上げます。この2年間は新型コロナウイルスのために学校行事にご参加いただくこともままならず、誠に心苦しく思っています。皆様のご理解、ご協力のおかげさまをもちまして今日のこの日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

また、これまで多大なご支援をいただきました卒業生やご関係の皆さまに対し、心から感謝申し上げます。今後も引き続き三国丘高校へのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、74期生のみなさん、ご卒業本当におめでとうございます。三丘生としての誇りを胸に、様々な状況に負けることなくご活躍されることを強く願ひまして私の式辞といたします。

令和4年3月1日

大阪府立三国丘高等学校 校長 濱崎 年久